

会 議 録

- 1 会議名 平成 30 年度第 2 回上越市スポーツ推進審議会
- 2 報告事項 (公開)
 - (1) (仮称) 上越市体操アリーナ整備事業について
 - (2) 新潟県立武道館新築工事の進捗状況について
 - (3) 平成 30 年度東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業について
- 3 議題 (公開・非公開の別)
 - (1) 平成 30 年度スポーツ推進事業実施状況について (中間) (公開)
 - (2) 平成 31 年度の予算方針 (案) について (公開)
- 4 その他 なし
- 5 開催日時 平成 30 年 12 月 10 日 (月) 午後 2 時から 3 時まで
- 6 開催場所 教育プラザ事務所棟 2 階 202 会議室
- 7 傍聴人の数 0 人
- 8 非公開の理由 なし
- 9 出席した者 氏名 (敬称略)
 - ・委員 : 土田了輔、小野島恵次、石野秋広、亀山浩、齋藤隆雄、高橋達也、和栗勝美、森田昭彦、春日清美、倉石義行、川澄陽子、加藤國治
 - ・事務局 : 田中課長、石澤参事、白石副課長、米川副課長、石田係長、山崎係長、田村主事、佐久間生涯スポーツ指導員、小島指導主事 (学校教育課)
- 10 あいさつ
 - 【土田委員長】
上越市のスポーツ推進のために、ご協力をお願いします。
- 11 報告事項
 - (1) (仮称) 上越市体操アリーナ整備事業について、石澤参事が資料 1 に基づき説明。
 - 【倉石副委員長】
(仮称) とあるが、正式名称はいつ決まるのか。
 - 【田中課長】

条例を提案するタイミングとなる。来年の9月か12月を予定している。他の段取りと合わせて調整する。

【倉石副委員長】

どんな方法で決めるのか。

【田中課長】

名称について、現在、議論はしていない。市は、ネーミングライツを実施したことがない。基本的には、上越市にある体操の建物であることが素直に伝えられる名称がよいと課内では話をしている。

【倉石副委員長】

公募の考えはあるか。

【田中課長】

検討の中で公募という声が出れば、検討していきたい。

(2) 新潟県立武道館新築工事の進捗状況について、石澤参事が資料2に基づき説明。

(3) 平成30年度東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業について、米川副課長が資料3に基づき説明。

【川澄委員】

教育コラボにボッチャ体験会があり、どの程度の規模であったかはわからないが、当方にも声を掛けていただければ、参加できたと思う。

【米川副課長】

直接団体へのご案内はしておらず、申し訳なかった。かなやの里の皆様からは、13人ほどおいでいただき、一緒に体験会をしていただいた。

【川澄委員】

旧上越市の身障者福祉協会では、福祉交流プラザで月2回、ボッチャの練習をしており、先日は、支援学級の生徒も一緒にやりたいということで、試合形式も行った。声を掛けていただけるとよかった。

【米川副課長】

今後も取り組みを進めていくので、ぜひ声をかけさせてほしい。

1 2 議題

(1) 平成30年度スポーツ推進事業実施状況について（中間）、山崎係長が資料4に基づき説明。

【春日委員】

スポーツ環境の整備について、使われていた学校が、使われなくなるという状況が進んでいる。私の地元は浦川原で、末広小学校の体育館がある。避難所に指定されているので、電気と水道は使えるが、それ以外は使えない状態である。生涯スポーツを考えるならば、使えるような体制にしてほしい気持ちはある。そのような希望はどのような形で受け取っていただけるか。

【田中課長】

施設を廃止することは、その施設の目的に対しての周りの状況が大きく変わったからである。学校の場合は、いろいろな経緯があって統合が選択された。その後の活用については、学校教育上のことがあると思うが、なによりも地元として活用の意向があるのかどうか、地元と協議を重ねていると思う。体育館だからということでスポーツ推進課で引き取るのかどうかは、施設を廃止していく流れであるので、我々が所管している体育施設が本当に足りていないのか、改めて精査をしなければいけない。浦川原だけではなく、一方で取り組んでいる施設の適正配置と整合を取らなければならない、慎重に対応する必要がある。末広小学校については、具体的な活用は聞いていない。

【春日委員】

要望はまだないと思うが、今後の取り組みをお聞きできれば、伺いたい。私は末広小学校の体育館を使いたいという声も聴いている。ただ、地元の話しだけで使用することは難しいと思う。そのような要望をどのような形で市に届けることができるか教えていただきたい。

【田中課長】

教育総務課で学校の統廃合の取り組みを所管している。そういった声があることを、担当に伝えたいと思う。

【春日委員】

了解した。

(2) 平成 31 年度の予算方針（案）について、田中課長が資料 5 に基づき説明。

【石野委員】

中学校運動部活動への指導者の派遣について、今までも、サポート事業で外部指導者の派遣の取り組みがなされてきた。今後、部活動指導員の取り組みが行われていくと思う。予算について、部活動指導員にお金が回ってしまって、今までのサポート事業の指導者の派遣回数が減っていくようなことになることを懸念している。サポート事業の外部指導者の枠を減らすこと無く、部活動指導員の枠が上乗せされれば、中学校としては大変助かる。

【小島指導員】

現在、部活動指導員の予算を要求中である。これまで、教員の多忙化解消、全く指導経験のない教員が指導しなければならないところに、市のスポーツ活動サポート事業で、平日を中心に支援してもらっていた。新たな事業としては、土日の活動に際して部活動指導員を配置する形で、予算を要求している。パイロット的に、平成31年度は1人、その後は随時を予定している。結果的に、どのような形になるかは、新年度に、どのような教員の配置がされるかによって変わってくる。どこに配置するかは、今後の状況を踏まえ、検討を進めていく。部活動指導は、教育課程外の活動として位置づけられている中で、教師も子供たちもやりたいという気持ちで、これまで一生懸命取り組んできた経緯がある。環境を整えていくことも、学校の教育の一貫ではないかと思う。

【白石副課長】

補足だが、国の方針で、文部科学省の部活動指導員は大幅増員との内容を把握している。しかし、上越市内の現状からみると、スポーツ活動サポート事業が、部活動指導員に仮に転換するとなると、学校と保護者と指導員の三者が全員納得の上で判断する形になる。今現在、各学校への意向調査を行っておらず、実際に指導員がどれくらい確保できるか、全く見えてない。新しい制度になると、部活動指導員は大会等の引率できるようになり、それに伴い大きな責任が派生する。そのため、現在の指導者が部活動指導員を引き受けてくれるかどうかという問題が出てくる。選択肢を確保した中で、学校の判断をもとに、部活動指導員制度とスポーツ活動サポート事業を両立していく方向である。現在、部活動指導員の予算はわずかであるが、状況を見て、部活動指導員へ転換するようであれば、部活動指導員の予算額を増やしていくように対応したい。

【倉石副委員長】

学校に選択肢を委ねると、それぞれの学校がバラバラになり、保護者からは、「あの学校はああなのになぜ私たちは違うのか」というような声が上がりがねない。それが、学校への不信感につながりがねない。時間をかけてもいいから、市が、方向性を決めるべきではないか。現場の話聞きながら進めてほしい。制度が進んでいる他市町村がたくさんあるので、情報収集を進めるなどして、何が問題なのか、精査してほしい。

【白石副課長】

1番のネックは、指導者がどう判断するか。指導者が、責任を負うことになる。指導者が「今までのやり方が良い」となれば、市として「部活動指導員になるように」とは言えない。学校を含めて、どちらがいいのか、全体で判断していければと思う。妙高市は、10数人の予算があったが、実際は1,2人しか確保できなかったという状況も耳にしている。学校、保護者へ調査を掛けながら、丁寧に進めていきたい。

【田中課長】

学校教育課を含め、教育委員会全体で議論を進めているところである。部活動には部活動の役割があり、外部からの指導者では、どのような棲み分けができるのか、根本的なところで、教育委員会内で議論が乾ききっていない。平成31年度は、モデル的に1人の

部活動指導員が実施される予定となっているが、検証をし、学校の感触をつかみながら、あるいは、指導者の意見も聞きながら、慎重に進めるべきであると考えている。

【土田委員長】

妙高市については、責任問題が原因で、指導者が2人しか確保できなかったのか。

【白石副課長】

原因は、調査していない。

【土田委員長】

多治見市では、多治見方式で外部指導者が入っているが、静岡で失敗したような事例もある。私が所属する日本体育学会でも、今年度に入りシンポジウムがあった。色々ところで成功例、失敗例が出てきていると思うので、参考に進めて頂きたい。

1 3 その他

【土田委員長】

皆様の日々の活動の中でのご意見、ご質問などがありましたらお願いしたい。それでは、進行を事務局へお返りする。

【白石副課長】

議事をすべて終了いたしました。ご意見等はいかがか。

【亀山委員】

小体連から報告する。長らく、ミニバスケットボール親善大会を開催してきたが、ここにいらっしゃる何名かの方にも参加していただき、協議した上で、来年度をもって最終大会とし、終了することとなった。よろしくお願いしたい。

【高橋委員】

先月、中郷区で開催された研修会について、非常に参考になる研修会であった。一般の方を含めた、スポーツ推進委員が集まれる中で、研修会をやると、今後の取り組みの方針を決める上でも非常に参考になる。各地域での総合型地域スポーツクラブの状況説明は、各地域のスポーツ指導員にも、非常に参考になる研修会だった。できるならば、予算の都合もあると思うが、いろいろなところでやってほしい。研修会の回数を少しずつ増やしてほしいと感じている。

1 4 閉会のあいさつ

【倉石副委員長】

今日は、中間報告と来年度の予算に向けての方針の話だった。具体的な話はなかったので、議論は少なかったように思うが、新しい年にふさわしいスポーツ振興が図れるようなご意見を、次回に頂戴したいと思う。ありがとうございました。

1 5 問合せ先

教育委員会スポーツ推進課企画推進係

TEL : 025-545-9246 (内線 616-1330)

E-mail : sports@city.joetsu.lg.jp